

平成 26 年度 第一回大正地区センター センター委員会議事録

開催日時： 平成 26 年 7 月 25 日(金) 15:30～16:30
議長： 小松委員長
出席者： 全 16 名
大正地区センター委員会 11 名
大正地区センター委員会(委任状) 2 名
欠席 1 名
戸塚区役所(栗原様)
公益社団法人とつか区民活動支援協会 鈴木事務局長
大正地区センター職員(大屋、阿部、大内)

I. 開会

平成 26 年度第一回大正地区センター センター委員会は、平成 26 年 7 月 25 日 15:30 より、大正地区センター第一会議室にて、大屋館長により開催が宣言されました。

II. あいさつ

大正地区センター センター委員会委員長 小松 勇 様
戸塚区役所地域振興課まちの安心・安全担当 栗原 聡一郎 様
公益社団法人とつか区民活動支援協会 鈴木 寿一 事務局長

III. 議事

1. 新任、退任委員紹介

新任委員：白井 為男 委員
内藤 賢一 委員
退任委員：五辻 源 様
作網 光雄 様

2. 平成 26 年度事業計画

(1)平成 26 年度 大正地区センターの予算説明(資料 1-2)

資料 1-2 により平成26年度の予算を説明。
収入・支出 :37,293,000 円の予算

(2)自主事業 (資料 1-1)

今年度は、講座数は減っているが、開催数は 141 回と昨年度より10%程度増やしている。43講座中18講座が新規講座となっている。

(3)ニーズ対応・修繕予定 (資料 1-2)

ニーズ対応費は利用者の為の予算で、年間の利用料金の 1/3 が目安になっている。大正地区センターでは、年間の利用料金約 420 万円の 1/3 を目安に 140 万円を予算に計上している。
定期的に支払う新聞・雑誌代や地区センターまつり・夏まつり費用の他、利用者の要望に都度対応している。
約85万円については、すでに支出内容を決定しており、残り55万円については、今後、利用者の皆様のご要望に沿ったものの購入にあてる予定。

修繕については、予算 70 万円に対して大幅に超過しているが、施設の老朽化に伴い緊急性の高い案件について、協会、区と相談しながら対応している。料理室の天井が老朽化で剥がれ落ちていることもあり天井の総張替と換気扇のモーターを交換した。(約77万円)また、館内の省エネ化のために LED 化を計画しているが、総額250万円も必要とするので、協会と相談しながら順次 LED 化をすすめていく予定。

3. 今年度センター行事計画委 (資料1)

主な行事について説明。

- ①大正地区卓球大会(会長杯)…………… 5月11日(日)
- ②大正地区バドミントン大会(会長杯)…………… 6月21日(土)
- ③大正社交ダンスパーティー…………… 7月11日(金)

- ④ロビーコンサート…………… 7月26日(土)
- ⑤大正地区センター夏まつり…………… 8月22日(金)
- ⑥大正地区センター館長杯卓球大会…………… 11月15日(土)
- ⑦大正地区センター館長杯バドミントン大会…………… 10月 5日(日)
- ⑧大正地区センターまつり…………… 12月6日(土)、7日(日)
- ⑨とつか区民活動支援協会 交流まつり……………開催予定日は未定

■夏まつり(資料2)

8月22日 16:00~19:30 縁日コーナー、マジックショー、はまちゃん体操、盆踊り、大抽選会
地区センターだより(2号)でもご案内する(7月26日 連合町会内で配布のご依頼予定)

■大正地区センターまつり(資料3)

12月6日(土)~12月7日(日)

説明会を8月29日(金)に実施予定。説明会への申し込み受け付け中。(6月1日~8月20日)

4. その他(資料1)

地域連携、子育て支援などに関する活動状況について説明。

- ①大正中学校サポートチームとしての会議出席。
- ②横浜市こども青少年局「親と子のつどいの広場」支援。
- ③センター空スペースでのじゃがいも作りを行い、利用者還元とさくらんぼ保育園とのふれあい。
夏はゴーヤを育てており、収穫の際には利用者還元。
- ④大正中学校と協働で学習支援を計画中。
- ⑤各洗面所の一言ボードと切り紙飾り設置。
- ⑥小学校社会科見学、中学校職業体験の受入。
- ⑦中学校の部活動の支援。(体育室解放…一般利用者の使用時間外)

5. 意見交換

Q:(A委員)

自主事業の参加人数、自主事業収入の基準はどうなっているのか。

また、予算の支出に修繕費は入っていないように見るがどうなっているのか。

A:参加人数は、25年度2,200人(実績)、26年度は2,400人を見込んでいます。

自主事業収入(参加費)には、部屋代、材料費が含まれている。それ以外に講師への謝金があるが、参加費だけでは賄えず、区からの委託金の一部を充当している。これにより参加費は、カルチャーセンターなどの費用の1/10程度に抑えられている。

資料には要約した予算書を掲載したが、修繕費は管理費に入っている。

Q:(A委員)

修繕費予算70万円に対して、館内照明のLED化は桁が違う。

A:70万円の予算は、小修繕分であり、今年度は番号1~3がそれにあたる。

60万円以上は、市の予算で対応することになっているが、高額であっても緊急性を要する案件は、協会、区と相談しながら対応している。

照明のLED化は、全てを交換する場合の費用で一度に交換することはできない。優先度を決めて順次LED化していく。

Q:(B委員)

大正地区センターは公益法人になっても税金(公租公課)が発生するのか。

A:公益法人でも消費税はかかる。公租公課の中身は消費税。

Q:(C委員)

自主事業費の決め方を教えてほしい。

A:自主事業の参加費(自主事業収入:64万円)は、材料費と部屋代を合計した金額と予定参加者人数から決める。

講師謝金は、区からの委金の一部を充当する。

自主事業費(支出の部 130万円)の中身は、謝金、材料費、保険費用。

参加費が無料のものは、講師が区から派遣されるものなど費用発生が無いもので、地域住民を守るための情報、知識

を提供するようなものが多い。

Q:(B委員)

地区センターでは修繕費が発生する。区も考えてほしい。

A:施設の所有者は横浜市。60万円以上の修繕費は所有者である横浜市が負担し、それ以下は指定管理者が負担することになっている。横浜市も予算的に厳しいが、施設を安全に使っていただくために、優先順次を付けて市民局に圧力をかけていきたい。

以上